

【本日の説教アウトライン】 **福音を分かち合うため（伝道）**

「あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。」ヨハネ1
「…私が自分の走るべき行程を走り尽くし…神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終
ることができるなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。」使徒20:24

●私の人生の第五の目的は **福音を分かち合うことです** = 「伝道」

「…そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、
わたしの証人となります。」使徒1:8

エルサレム=自分と直接関わりのある人々

サマリヤ=近くにはいるが、自分と異なる人々

地の果て=それ以外の人々

●与えられた使命を完成させるために、私たちは・・・

1. **直接関わりのある人たちに福音を伝える義務を果たしましょう**

「家に帰って、神があなたにどんなに大きなことをしてくださったかを、話して
聞かせなさい。」ルカ8:39

「あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつで
も弁明できる用意をしていなさい。」第一ペテロ3:15

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせてお
られるではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるの
であって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むこと
を望んでおられるのです。」第二ペテロ3:9

2. **勇気を持って自分の生活圏を超えて踏み出しましょう**

「互いの重荷を負い合い…キリストの律法を全うしなさい。」ガラテヤ6:2

「父なる神の御前できよく汚れのない宗教は、孤児や、やもめたちが困っている
ときに世話をし、この世から自分をきよく守ることで。」ヤコブ1:27

「まことに、あなたがたに告げます。わたしのために、また福音のために、家、
兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、」マルコ10:29

3. **全世界の必要のために心を用いていきましょう**

「それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造ら
れた者に、福音を宣べ伝えなさい。」マルコ16:15

「ダビデは、その生きていた時代において神のみこころに仕えて後、死んで先祖
の仲間に加えられ、ついに朽ち果てました。」使徒13:36

「それは、あなたの道が地の上に、あなたの御救いがすべての国々の間に知られ
るためです。」詩篇67:2 ■

【今週の暗唱聖句】 40日の旅／第六週 伝道 コロサイ4:5

外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。

クリスチャンはこの世から取り出され、キリストの血潮により洗い清められ、再び、世に送り込まれた存在です。この世ではサタンが証しを奪おうと待ちかまえており、世の人々も様々な方法で私たちが「本物」であるか試そうと挑戦して来ます。それゆえに私たちは注意深く歩む必要があります。一方、神は一人でも救われるようにと、私たちの所に求めのある人々を送り、証しをする機会を備えてくださいます。それゆえ、いつでも心の準備をしておくことが大切です。■

【祈りに関する学び (6)】

パウロの祈りから学ぶ：神に栄光を帰すこと

- ◆ローマ11:36 というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。
- ◆ガラテヤ1:5 どうか、この神に栄光がとこしえにありますように。アーメン。
- ◆ピリピ4:20 どうか、私たちの父なる神に御栄えがとこしえにありますように。アーメン。
- ◆1テモテ1:17 どうか、世々の王、すなわち、滅びることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄えとが世々限りなくありますように。アーメン。

パウロは時折感極まって、手紙の中で所構わず、神に栄光を帰して「アーメン！」と叫んでしまいます。皆さんも神さまの素晴らしさに感動して、思わず「ハレルヤ！」と叫んでしまった、そんな経験をしたことがあるでしょうか。聖書の中に非常に多く出てくる言葉は「喜び」です。「喜び」が出てくる聖句を学べば学ぶほど分かってくるのは、神が私たちの喜ぶ姿をごらんになりたいということです。神は実にいろいろな方法で私たちを喜ばせてくださいますが、最大の喜びの源として「神ご自身を知る特権」を私たちに与えてくださいました。パウロが祈りの中で「ますます神を知ることができるように」と繰り返しているのはそのためです。最終的に「この神を持っているなら (申4:7、マタイ13:44,46)、他の何も入らない!」とまで言えるようになる、とイエスご自身、真珠商人のたとえで教えています。この神を知り、いつでも神に栄光を帰すことはふさわしいことなのです。■